

第14回インターナショナルチャレンジサイクリング<ツール・ド・秩父>終了

第14回インターナショナルチャレンジサイクリング<ツール・ド・秩父>が9月7日~8日、秩父ミュージックパークを主会場として開催され、リゾートコースに917名、ファミリーコースに98名がエントリーした。

7日はぐずついた天気で開催式が始まる頃には雨が降り出した。ライト(前照灯)問題は今回もあったが、最近ではLED3個以上のものがあり、定義を替えなければならないかもしれない。

15時から開催式が始まり内田大会会長、浜田名誉会長の挨拶に続き、参加者宣誓が行われ渡邊実技委員長の大会主旨説明があり開催式を終了した。その後交歓会では恒例の秩父屋台囃子やマウンテンバイク等が当たる抽選会があった。

8日は雨も上がりサイクリングには最適な天候になった。8時30分から出走注意が行われ8時45分からリゾートコースがスタート。9時10分にはファミリーコースがインストラクターの誘導により一斉スタートした。10時30分頃には最初の参加者がゴールし、次々にリゾートコースがゴールを続けた。12時過ぎにはファミリーコースもゴールを始め、13時52分には参加者全員がゴールをした。

大会の様子は協会ホームページに掲載 <http://www.geocities.co.jp/SilkRoad/icc.html>

大会VTRのCD版販売中です。 頒価800円(郵送料別途200円)

第1回ハーフセンチュリー大会終わる

第1回ハーフセンチュリーランが10月20日(日)、行田サイクリングセンターを主会場として開催された。前日から雨が降り、予報でも当日は雨との情報で参加辞退者が多かったのは残念であった。当日は雨もあがり涼しく、センチュリーにとっては走りやすい条件となった。

8時から受付、8時15分から開催式が始まり渡邊理事長の挨拶に続き、矢作実施責任者から参加上の注意があり、8時30分から10分/2分間隔でスタートした。

センチュリーラン埼玉(毎年5月開催)経験者は同じコースなので、コース回りも順調だったが、初エントリー者に行方不明者やリタイア者が続出し、対応に追われた大会であった。

地図をしっかりと読むことと、出来れば試走することが大切であることを実感した1日であった。

<大会状況>

エントリー90名

当日参加者53名、出走52名、完走41名、リタイア11名

サイクリストの集い

ハーフセンチュリーと同時開催された「サイクリストの集い」は例年、青少年会館にて開催されていたが、会館の廃館に伴い、今回は行田サイクリングセンターで開催された。

あいにくの天気でセンターを訪れる一般のサイクリング愛好家はいなかったが、ハーフ参加者が多数協力してくれた。

呼び物自転車はセンターの管理人さんが早々ゲット、保安部品等を含めいろいろ協力いただいた。お弁当を届けにきた業者の方やセンター近くの叔母さんにも協力いただいた。もっと多くの県民に参加していただけたら良かったと思った。

今回のハーフセンチュリー開催に当たり、埼玉県北部公園事務所、行田サイクリングセンター、大沢建設(駐車場提供)の方々には大変お世話になりました。

また、毎度バザーに品物を提供されている北村さん、谷さん、山崎さん、日比谷さん、矢作さんには協会に売上を寄付していただきありがとうございました。

<協会イベント案内>

年末懇親会

日 時 平成14年12月7日(土) 18時~20時

会 場 一源(北浦和駅西口左側:NTT斜め)

会 費 5000円

申 込 平成14年11月28日(木)迄に事務局(期日厳守)



第18回新春サイクリング

新年の走り始めの気軽なサイクリングです。

皆さんの参加をお待ちしています。

日 時 平成15年1月5日(日) 9時30分

集 合 9時(浦和地方庁舎駐車場)

コ ー ス 与野七福神とその周辺

申 込 平成14年12月7日(土)迄に事務局



第38回関東甲信越ブロックサイクリング山梨県大会終わる

第38回関東甲信越ブロックサイクリングラリー山梨県大会が河口湖を主会場として9月23日(月)~24日(火)開催された。

23日朝、実走受付をして、参加者はAコース(山中湖めぐり:60km)とBコース(河口湖めぐり:20km)に分かれてサイクリングをした。山中湖コースは最初からだらだら登りのスパルライン、長い坂は苦しい。忍野八海までは何度か上り下りが続いた。忍野八海は8つの池が散在し、それぞれ特色を持っている。水深10mの澄んだ青さに神秘を感じる。山中湖畔で、「ほうとう」を食べるが、いまいち納得いかない。あのどろどろさがない。一般受けするようにきしめんタイプになってしまったのか?山中湖はさすが広いこいでもこいでもスタート地点に戻らない。湖のあちらこちらでは釣り人がわかさぎ?ブラックバス?釣りに挑戦していた。一周中に結局富士は一度も姿を見せなかった。

午後4時から河口湖ステラシアターで開会式が行われ、諸挨拶に続いて、多数回参加者に記念品が贈られ閉会。午後6時30分から「湖南荘」にて懇親会が開かれ、斎藤昇関東甲信越サイクリング協議会会長の乾杯でスタート、1年ぶりの再会に友好を温めた。あっという間に時間が過ぎ、8時過ぎにはお開きとなった。

24日朝、閉会式が行われ、大会旗が千葉県に引き継がれ大会を終了した。その後、私は時間があつたのでBコースを走ったが、平日なので道路もすいていて快調。奥河口湖はとても閑静なところで、おもにモーターボートの基地になっているようだ。お土産屋を物色中に意外な史跡を発見(河口湖新倉掘抜史跡館:あまり宣伝されていないので、多くの人は見落としているだろう)。そこで1時間ほど閑つぶしをした後、美味しい「ほうとう」を求めて再度挑戦。新倉掘抜史跡館上の「陣笠」が結構いける「ほうとう」だった。ラリーを主管された山梨県協会の皆様には大変お世話になりました。

* 秩父地方に「おっきりこみ」という料理がある。これは「ほうとう」とまったく同じもので、第17回ブロックラリー(埼玉主管)のとき長瀬で食べた味がいまだに忘れられない。 渡邊記

第39回ブロックラリー千葉県大会概要

期日 平成15年9月13日(土)~14日(日)

会場 成田・佐倉・印旛

宿泊 マロウドインターナショナルホテル成田

コース Aコース(一般)50km、Bコース(ファミリー)20km

募集人員 350名

参加料 JCA会員 17,000円、一般19,000円、小学生以下10,000円

事務局だより

年末・年始の休み

12月25日(水)~1月8日(水)

本号でニュースの年内発行を終わりにします。メールアドレスお持ちの方は協会までご連絡下さい。どうか良い年をお迎え下さい。

第40回のブロックラリーは埼玉担当です。すでに平成16年には埼玉国体があり、宿泊場所も日程調整が難しそうなので早めに押さえました。平成16年10月10日~11日(さいたま新都心)です。皆さん今から予定を。

【編集後記】

2002年は協会にとって多難な年であった。年明けに青少年会館の廃館が決定的なものとなったとの連絡を受け、存続のための手だてを尽くしたが、県の意向は堅く結局永年住み慣れた青少年会館(県の青少年行政に疑問を持ちながら)を後にしなければならなくなった。浦和地方庁舎への移転に伴う下見や面積割の協議。そして引越準備、あれこれ整理したが(倉庫のものは役員分散管理)時間が無くなり残ったものは新天地に持ち込んだ、足の踏み場も無い程で片づけまで2ヶ月を要した。貴重な時間を使いおまけに疲れ果てた数ヶ月であった。会員の中にはいたわりの言葉もあったが、どこ吹く風、相変わらずいい加減な申し込みや支払いが続く。もう少し自分達が運営する協会という意識をもって貰いたいと思ったのは私の我が儘なのかもしれない。